

平成25年度

佐倉市議会 意見交換会

報告書

①平成26年 1月26日（日）佐倉市役所議会棟

②平成26年 2月 1日（土）千葉敬愛短期大学

平成25年度 佐倉市議会 意見交換会 ①

〔開催概要〕

- テーマ 主要テーマ『選ばれるまちとなるため』
サブテーマ『まちの活性化、まちの魅力づくり（地域産業の振興、観光資源の創出）』
- 日時 平成26年 1月26日（日） 午後1時30分～午後3時30分
- 会場 佐倉市役所議会棟
全員協議会室（全体会議）
第二委員会室、第三委員会室、第四委員会室（グループ会議）
- 参加者 佐倉商工会議所役員、佐倉市観光協会役員 計24名
佐倉市議会議員 27名

〔主な意見〕

「市の現状や課題」

- ・イベントや資源は多彩だが、アピールや情報発信力がない。もっと積極的なPR活動に力を入れるべき。
- ・食べ物の名物品がない。富士宮市の焼きそばなどはすごい経済効果を上げている。いい産品はあるのに、食べる場所やお土産を買う場所がない、あるいはお店が早い時間に閉店しまう。少人数で新たに始めるのは難しく、市の援助がないと実現できない。
- ・後継者問題が深刻。多くの企業が後継者難で、資金難での倒産よりも圧倒的に多い。
- ・商工会議所では、一店逸品運動や佐倉ブランドの確立に取り組むほか、後継者候補を青年部に勧誘し育成している。
- ・「道の駅」などの構想もいいが、佐倉ではよほど手を打たないとお客は来ない。商業者だけに押し付けないでほしい。景観条例も進んでいるし、新町には各商店や美術館などいい資源があるが、駅前には何もない。
- ・観光の中心は印旛沼であるが、屋形船が老朽化していて積極的に営業できない。
- ・農家の販路も、以前はJAと市場だけであったが、今は直売所、スーパー内の直売コーナー、ネット等に変化、拡充している。
- ・建設関係の公共工事は低入札が深刻で積算しても赤字になる、地元業者になかなか仕事が回ってこないなど、入札の問題点について検討してほしい。

「まち（商工業や観光業など）の活性化策、魅力づくり」

- ・後継者不足で店を辞める人が増えている。一過性のイベント中心だけでなく、日頃か

ら人が来てくれるまちづくりを目指さなければいけない。

- ・アド街ック天国などの放映で集客力が上がった。新聞やマスコミ等にもっとアピールすればいい。
- ・見るところ、買うところ、食べるところの3つの条件がよい場所には人が来る。拠点となる場所、佐倉の産品を売る場所として、「道の駅」や「まちの駅」をつくりたい。南房総市の「道の駅」にはたくさんの方が来てもらえる条件が備わっている。そこが集客拠点となり、大型バスが集まり、そこから各店やレストランの予約もできる。同じ「道の駅」でも、農産物だけしか売っていないところは魅力がない。せんべいやまんじゅう等地元の商品を集めて売っているところは集客できるし、周りへの波及効果がある。また東金市のような市民が参加しやすい地産地消の「まちの駅」などもいい例である。
- ・ふるさと広場は建物が建てられないと言われていたが、農産物直売所ができたように知恵を絞れば可能となることもある。
- ・印旛沼の自然は十分観光資源になると思う。ふるさと広場、草ぶえの丘、岩名運動公園など、印旛沼を中心として一体的な観光拠点としたい。
- ・もっと歴博（国立歴史民俗博物館）との連携を図るべき。
- ・新町は道幅が狭いので、大型バスが回れるような環境整備が必要。
- ・順天堂大学の誘致について検討している。全体的な計画はまだであるが、もし実現すれば、若者が集まり、まち全体が活性化すると思う。まちづくりに若い力は欠かせない。
- ・団塊の世代や高齢者世代の観光客は増えているし、イベントなどでもその世代が多く参加されている。それらの世代をターゲットにした積極的な取り組みを。
- ・最近外国人（特に東南アジアなど）の観光客が多く、着物や袴を着て喜んでくれている。外国の方への取り組みももっと積極的にすべき。

平成25年度 佐倉市議会 意見交換会 ②

〔開催概要〕

- テーマ 主要テーマ『選ばれるまちとなるため』
サブテーマ『若者が住みたいまち、子育てしやすいまち』
- 日時 平成26年 2月 1日(土) 午後1時～午後3時
- 会場 千葉敬愛短期大学佐倉キャンパス8号棟
8-311教室(全体会議)
8-307、8-308、8-309教室(グループ会議)
- 参加者 千葉敬愛短期大学初等教育科の学生 26名
佐倉市議会議員 23名

〔主な意見〕

「佐倉市のイメージ」

- ・歴史、自然、文化のまち。都心から比較的近いのに、印旛沼やチューリップ畑など自然も豊か。
- ・教育や子育てに力を入れているまち。
- ・公園や大きい広場など落ち着ける場所がある。
- ・樹木が多いのはいいが、暗くて危険に感じることもある。
- ・若者よりも高齢者が子どもたちと楽しんでいるまち。
- ・花火大会や祭りには多くの人が行ったことがある。
- ・お土産品がない。観光地などへ行ったときに購入するものは地名の入った商品が多いが、佐倉で思い当たるものを知らない。
- ・JRと京成の駅が離れているのが不便。
- ・物井駅周辺は駅前に学校しかない。
- ・若者が集う場所や若者向けのお店があまりない。
- ・サンセットヒルズなどは知らなかった。PR不足だと思う。
- ・カムロちゃん知っている。
- ・ボランティア活動が盛んで、ボランティアしやすいまち。ただし大学と提携していないとできないので、もっと市から大学側へ呼びかけてほしい。

「将来住みたいまち、佐倉市に望むこと」

- ・公共交通の便のよいところ。
- ・学校、公園、病院、駅が近く、買い物にも便利な場所。

- ・自然が多く、落ち着いた環境の中で自然と触れ合えるところ。近くに公園など子どもが遊べる空間があるといい。
- ・子育て環境や教育環境の整ったところ。
- ・安全なところ。街路灯が少なく暗いと不安だし、パチンコ屋や居酒屋が多いと治安がよくないイメージがある。
- ・道路や歩道が整備されているまち。狭い道は危険なので改善してほしい。
- ・小児科の充実、駅周辺に託児所、公共施設のトイレなどでのおむつ交換場所の設置などがあると便利。
- ・外国人が増えているし、外国の方にもやさしいまちが必要。そのためにも言語教育は重要。
- ・遊ぶまちと住みたいまちは別。
- ・教育や文化は住みたいにつながらないのでは。人が触れ合う機会が必要。福祉や教育は大人が子どもに与えるもの。
- ・若者が活躍できる場所が必要。文化的なものに参加できる機会や、学生のボランティアやアルバイトの機会を。また、ファッションショー開催、佐倉ブランドの確立、特区の活用など、若者に魅力あるまちづくりが重要。
- ・駅前に話題性のある場所をつくる、有名人の力を借りるなど、人が集まるイベントを開催しアピールする。

「子育て支援策や保育施設について」

- ・通ってなくても気軽に行ける園庭解放はいい制度。子育て支援センターは交流が図れてよい。病後児保育もよい制度。
- ・マタニティブルー対策や、母親、父親のコミュニティーの場の充実、男性をターゲットにした支援策を。
- ・子育て後も働ける支援制度を。
- ・さまざまな子育て支援制度があることを、もっと周知させる必要がある。
- ・自然と触れ合い、自由に遊ばせられることも重要。
- ・保育士同士でコミュニケーションが取れるところで働きたい。職場内の人間関係も重要。
- ・保育士は保護者に頼られる存在。保護者とのかかわりを持ち、些細なことでも「報告・連絡・相談（ホウ・レン・ソウ）」が必要と感じる。
- ・民間保育園は休みが少ない印象。公立は給料が安定して福利厚生が優れている印象。
- ・公立は自由な風土、私立は教育内容や規律がしっかりしている。質の面では私立の方が優れている印象。
- ・幼保一元化認定こども園では、長時部（保育園）の子が昼寝している間に短時部（幼稚園）の子が帰るなど、生活のリズムが別々になり子どもたちがかわいそう。また、長時部だけであれば昼寝中にほかの仕事ができるが、短時部と一緒にだとその時間が帰宅時間となるため、仕事の時間的余裕がなくなる。

意見交換会参加者アンケート集計

- ① 22名回答 (佐倉商工会議所役員、佐倉市観光協会役員)
- ② 26名回答 (千葉敬愛短期大学初等教育科の学生)

1. ご自身のことについてお聞きします。

(1) 性別

	① 1月26日	② 2月1日
男性	20	3
女性	2	23

(2) 年齢

	① 1月26日	② 2月1日
19歳以下	0	12
20～29歳	0	14
30～39歳	1	0
40～49歳	1	0
50～59歳	6	0
60～69歳	10	0
70歳以上	4	0

(3) 住所

		① 1月26日	② 2月1日
佐倉 市内	佐倉地区	10	6
	臼井・千代田地区	2	
	志津地区	4	
	根郷地区	3	
	和田・弥富地区	0	
佐倉 市外	千葉市	3	0
	四街道市		4
	酒々井町		0
	八街市		0
	成田市		0
	県内その他市町村		15
	千葉県外		1

2. 意見交換会の内容について

(1) 今回参加してみたの印象

	①1月26日	②2月1日
とても良かった	7	17
良かった	13	8
普通	2	1
悪かった	0	0
とても悪かった	0	0

(2) 意見交換会の時間

	①1月26日	②2月1日
長かった	0	2
少し長かった	0	3
適当だった	13	17
少し短かった	9	3
短かった	0	1

(3) グループ会議における人数

	①1月26日	②2月1日
多かった	0	1
少し多かった	2	4
適当だった	19	21
少し少なかった	1	0
少なかった	0	0

(4) 今回の意見交換会についての意見や感想

[①1月26日]

- ・今後も継続して開催してほしい。
- ・今回出た意見を市政に生かしてほしい。
- ・市の活性化のため、がんばってほしい。
- ・もう少し時間が長くていい。
- ・有意義だったが、できればグループ分けせずにやればベスト。
- ・具体的テーマを3つくらい設定して議論してもいいのでは。
- ・あまり深い内容までは話せていないので、その都度意見内容を確認して、互いの内容にズレがないようにしてもらいたい。
- ・初回なのでまだ十分とは言えない。今後継続して深く討議を重ねる必要があると思う。

[②2月1日]

- ・10年以上市内に住んでいるが、今まで知らなかった市のいいところをいっぱい知ることができた。

- ・議員の方々とお話する機会がなかったので、いい機会になった。
- ・私たちの意見を真剣に聞いてくださってうれしかった。
- ・もっと堅苦しいものだと思っていたが、とてもよく意見を受け入れていただき、地元の市より好感が持てた。
- ・丁寧に対応していただき、リラックスして自分の意見を話すことができた。
- ・佐倉に対するイメージやこれからの市をどう変えていくかについて、意見交換できて勉強になった。
- ・佐倉に住んでいて、いろいろ思うことがあってもそれを意見として言える場がなかったので、今回参加してよかった。意見を少しずつ取り入れていただけたらうれしい。
- ・議員の方々のお話しも少し聞きたかった。そうすることで佐倉のことをより知ることができ、もっと有意義になるのではと思った。
- ・ほかの若い人たち（教育関係以外）ともこのような機会を設けることで、また違った観点からの話が聞けるのではないか。
- ・佐倉の伝統、文化、歴史を大切に、活性化することを望む。
- ・テーマが広がったかなと思った。
- ・若者を市内にとどめるための策に対する意見か、子どもを増やすための意見か、少しわからなかった。
- ・市の情報発信について、学生は特に電車通学の時間が長いので、電車の車内に必要な情報が掲載されているといいと思う。

会議風景

①1月26日（日）佐倉市役所議会棟

〔全体会議〕



主催者（議長）あいさつ



商工会議所・観光協会役員のみなさん

〔グループ会議〕



②2月1日(土)
千葉敬愛短期大学



〔全体会議〕



千葉敬愛短期大学学長あいさつ



学生のみなさん

〔グループ会議〕



平成25年度 佐倉市議会 意見交換会 報告書

平成26年4月発行

発行者：佐倉市議会

編集：広報公聴委員会

委員長：柏木恵子、副委員長：橋岡協美

委員：高木大輔、岩井功、井原慶一、五十嵐智美、
小須田稔、山口文明、押尾豊幸